

# 平成 31 年度学校経営計画書

学校番号	53	学校名	静岡県立川根高等学校	校長名	須藤 隆広
------	----	-----	------------	-----	-------

## 1 目指す学校像

### (1) 教育目標

校訓「自省」「創造」「果敢」の精神に則り、生徒一人一人の確かな学力、豊かな感性、健やかな心身を育成するとともに、生徒・保護者・地域にとって安心安全な学校づくりを目指します。

#### <育てる生徒像>

川根愛を育み、自らの未来を拓くために

- ア 自ら掲げた目標の実現のために、よりよい学習習慣を身につけ、主体的・対話的で深い学びの実践をとおして、思考力・判断力・表現力を鍛える生徒
- イ 多様な考え方・生き方を尊重し、自分の良さを自覚するとともに、他者との適切なコミュニケーション力を身につけ社会の中でよりよい人間関係を築ける生徒
- ウ 学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に取り組むとともに、健康的でよりよい生活習慣を身につけ、大きな声であいさつができ、声高らかに校歌を歌える生徒
- エ いじめ防止等規範意識を高め、落ち着いた学習環境を皆で整えるとともに、防災にも積極的に取り組み、誰にとっても安心安全な学校作りに主体的に関われる生徒
- オ 川根高校ならではの「夢ぶろ」学習への積極的な取組をとおして、地域に誇りを持ち、魅力や課題を発見するとともに、自らと地域の未来を切り拓く力を身につける生徒

### (2) 目標具現化の柱

- ア 確かな学力の育成
- イ 豊かな感性の育成
- ウ 健やかな心身の育成
- エ 安心安全な教育環境、働きやすい職場の確立
- オ 魅力ある学校づくり

## 2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

柱	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当
ア	生徒一人一人の目標実現のための確かな学力を身につけさせる学習指導や授業改善の取組を積極的に行う。	家庭学習習慣を身に付けさせることにより、基礎学力の向上を図る。生徒の授業に対する前向きな取り組みを推進するとともに、生徒が積極的に授業に参加できるよう授業改善を行う。	テスト期間における家庭学習時間の平均が180分以上。「授業に集中して取り組んでいる」「この授業が分かる」がともに95%以上。	教務課
		遠隔通信システムを有効的に利用しながら、積極的にアクティブ・ラーニング(=AL)型授業を展開し、確かな学力を身に付けさせる。職員全員がAL型授業を実践でき、遠隔通信システムを利用できるよう研修を行う。	各教員がAL型授業を各学期1回以上。	教務課 研修
		補習や模試、チューター制度を生徒の実態に合わせて企画・運営し、内容の充実を図る。 スタディサプリの活用により、個に応じた学びの機会を提供する。	国公立大学合格者2名以上。	進路課

		学び直しや外部模試の事前・事後指導を丁寧に行うことで、進学や就職にも対応できる基礎学力の定着を図る。	基礎力診断テストGTZ（学力到達度ゾーン）のD2以上の生徒50%以上。	進路課
イ	多様な考え・生き方を尊重するとともに、適切なコミュニケーションにより社会の中で望ましい人間関係を築ける生徒を育成する。	中学校、町役場、地域と連携して、学校内外のルールやマナーに関わる活動に取り組むことにより、他者を思いやる心を身に付ける。	生徒アンケートの「困っている人を見たら助けてあげたい」で95%以上。	生徒課
		HR活動や学校行事などの特別活動を通して他者との関わり方や達成感を得られるようにする。	学期に1回以上コミュニケーションスキル講座を実施する。	生徒課
		授業や進路指導、図書委員会の活動をとおして図書への生徒の興味を喚起し、本を手にする機会を増やす。生徒にとって魅力的な図書室作りを目指す。	年間1人読む本4冊。 図書室の利用回数1人4回。	総務課 図書
ウ	基本的な生活習慣を身につけ、学校生活に積極的に取り組むとともに、自らの健康管理に留意できるさわやかで前向きな生徒を育成する。	挨拶、服装のレベルをさらに高めるために、継続した指導を行う。 学校生活を通して、モラルやマナーを身に付けることの大切さを伝える。	生徒アンケートの「ルールを守る」で90%以上。	生徒課
		部活動顧問の適正配置を図るとともに、部活動顧問と担任が連絡を密にとり、生徒が部活動に主体的に取り組み、自ら進んで判断できるようにする。	生徒アンケートの「部活動に積極的に参加した」で90%以上。	生徒課
		朝食摂取調査により、生徒の食生活の改善を図る。掲示物等を使い、食事に対する意識を啓発する。	朝食摂取率100%。	生徒課 保健
エ	いじめ防止及び防災に積極的に取り組むとともに地域家庭と連携し安心安全な教育環境を整え、職員にも働きやすい学校作りを行う。	教育相談を充実させ、担任や部活動顧問、保護者、地域と連携し生徒一人ひとりにあった支援をしていく。	いじめ件数0件。	生徒課
		地区会や防災訓練を通して、非常時における身の安全を確保できる対応策を指導する。 地域防災訓練の参加を積極的に呼びかける。	地域防災訓練への自己都合による欠席5%以下。	総務課
		日常点検を行うとともに、職員安全衛生委員会等で職員から校内の情報を積極的に収集する。得られた情報は共有し、迅速に対応する。	施設・設備に起因した事故の発生件数0件。	事務
		P T A地区会や学校行事の周知を徹底し、参加しやすい状況を作る。 ホームページ更新を積極的に行い、閲覧数を増やす。	P T A地区会参加率80%以上。 ホームページアクセス数を月2,500件以上。	総務課
		安全と健康に留意しつつ、業務の効率化を図り、時短の促進を図る。	学校安全衛生委員会の提言の毎月1件以上。 セキュリティセット時刻の短縮前年比15分以上。	副校長
オ	「夢ぶろ」及び連携型中高一貫教育を充実させ、連携中学生及び県内外の中学生に選ばれるよう川根高校のより一層の魅力化を図る。	4委員会の活動を全職員で共有し、一貫教育の目標やねらいの理解浸透を図るとともに、保護者に連携型中高一貫教育の趣旨や川根高校の魅力を発信する。	4委員会の活動報告を春と秋の合同研修会で行う。 連携中学保護者への広報機会3回以上。	副校長
		体験型活動の充実を更に推進し、教育課程全体に「夢ぶろ」を軸とした関連性をもたせる。	各事業後、毎回アンケートを実施し、「夢ぶろ」との関連性を数値化する。	副校長
		県外生徒募集説明会や中学校訪問、ホームページを活用し、川根留学生制度の周知を図る。	県外会場での生徒募集説明会2回以上。 川根留学生説明会への参加30組以上。	副校長 教頭 生徒課
		遠隔通信を用いた授業や生徒交流、教職員研修等の内容の充実を図る。	各事業後のアンケートで、その事業に満足した参加者80%以上。	教頭 教務課